

School excursion 2005年度版

一日目 二日目 バス移動 イバン族

一日目は、ほとんどが移動ばかりの一日だった。一回だけ明日の、イバン族の昼食の材料を調達しにマーケットに行っただけだ。

バスの中は、とても楽しかった。カラオケをしたり、トランプをした。カラオケでは、寝ている人に迷惑だ、というぐらいの声で歌う人もいた。

二日目 イバン族見学
二日目は、待ちに待ったイバン族のロングハウス見学だ。手を横にやると沈んでしまいそうな、縦長のポットでイバン族のロングハウスに行く。そして着いてみると、このロングハウス、やたらと犬が多い。そしてここには28家族住んでいる。

最初に、米を使ってつくったお酒が出された。僕が飲んだ中では、一番温度が高いかと思うようなお酒だ。飲むとどの辺りが、なんだがほんわかする。そ



その後、歓迎の踊りを踊ってくれた。この踊りは、鳥をイメージした踊りだ。今の中3が、平成16年のときに踊ったような踊りであった。こちらもお礼に赤組の踊りを踊った。

その後は7つものお土産を渡し、例年になく多かったのか、お礼に首飾りをもらった。そして待ちに待ったイバン族風ご飯。手で食べるというなれない食べ方で食べる。

ロングハウスの中で吹き矢大会

お土産贈呈の後は、吹き矢大会だ。中2はこの日のためにこつこつと的を作っていた。そしてこの誰もが結果は分かっていると言ったゲームが始まった。以外なことに女性の方が上手かった。結局試合は負け、賞品を渡した。だが、市販ではない長 い吹き矢が体験できたのでよかった。

三日目

三日目 オランウータン見学
このオランウータン見学、最初はあまり意識していなかったが、とても頭に残るものとなった。なんと今回はオランウータンの中でも一番最年長、最大のボス、リッチーが出てきたのだ。全長約2m、体重約90kg、とても毛深いというのが、頭に残っている。行ったときはバナナをむさぼっていた。

リッチーは食べたならさっさと森に帰って行ってしまった。しかし見られたらラッキーというオランウータンを見られたので、みんな満足だった。

グヌンガディン国立公園
ここグヌンガディン国立公園では珍しいラフレシアという、世界最大の花が見られるのだ。みんな「見れ



オランウータン ラフレシア



るかなあ」と不安だった国立公園とあるが、ジャングルに近かった。しかもぬかるみが多い。そして見つけた、思っただけで腐っているラフレシアだった。残念、とほかの所を探したが、結局開花しているのはこれだけだった。あと36時間待てば咲くという、カボチャみたいになつぽみはあった。

ここはまた行けるならもう一度行ってみたいものだ。

みんなの面白かったこと

一日目 飛行機の中で、O君が吐くまねをしてエチケットブック口をもらったこと。

バスの中で、またまたO君がカラオケでオペラを歌っているかのよう歌ったこと。

二日目 OK君が寝ているとき、白目になって寝ていたこと。

A君が、一日目の夜に口をバクバクさせながら、寝言をいっていたとき。

三日目 Mさんが買った吹き矢を枕を的にして、練習していたこと。

I君が朝起きたら頭が爆発していて、I君はほっとけばなおると言い、他のお客さんや、みんなから笑われていたとき。

四日目 OK君がイバン族の狩った首を見て、「なま？」といったこと。

OK君がチャック全開で、歩き回っていたこと。

